

KONPIRA

こんぴら
まいり





無言の激励をおくっている。

上り下りする参拝客に

ひたいに汗して

無数に建ちならび

心はずむ思いで、一生一度はこんぴらまいり。

一三六八の参道の石段を一段、また一段と数えながら

こんぴらさんの参道の石段は御本宮までが七八五段。さらに奥社までを数えると合計一三六八段の石段が象頭山の山腹をぬうようにはるばると続いている。名物の石段の周囲には報賽の石燈籠や玉垣などが

豪壮な瓦ぶきの大門をくぐって悠々と金刀比羅宮の境内へ。

石段の両脇に、土産物店や旅館がずらりと軒をならべるこんぴらさんの参道を、「よいしょよいしょ」とのぼつていくと、やがて、一の坂とよばれる急勾配にさしかかり、正面に、二層入母屋造、瓦葺の豪壮な「大門」がみえてきます。

ここからが金刀比羅宮の境内で、大門をくぐった境内の入口には、「五人百姓」とよばれる五軒の飴屋が、参道の左右に大きな傘をひろげた昔ながらの姿で、おとずれる参拝客をむかえてくれます。



参道の石段 Stone Steps of the Sando Approach



大門 O-Mon Gate

The slope, called the Sando Approach to Kotohira-gu Shrine, consists of 1368 stone stairs, and its climb is the highlight for visitors. After Climbing this long slope, many them pray at Kotohira-gu Shrine located in the middle of Mt. Zozu (elephant's Head Mt.). On the way to the shrine, there are many enjoyable spots where tired climbers has rest.

金刀比羅宮の参道도에 합계 1,368段的의 석단이 있으며, 이는 곧 이神社의 명물이 되었다. 参拝客은 이 긴 석단을 올라가 象頭山의 中腹에 있는 金刀比羅宮에 참배를 한다. 이 석단의 도중에는 수많은 명소가 있으며 땀투성이 얼굴로 석단을 올라가는 参拝客들은 이 경관을 즐길 수 있다.



五人百姓 Gonin Byakusyo (five farmers were permitted to operate trades within the precincts of Kotohira-gu Shrine)

門前町の繁栄を今に伝える
古色豊かな文化財の数々。

こんぴらさんの門前町には、歴史と文化の香りも豊かな建造物や史跡など、数多くの貴重な文化財が点在しています。

こんぴらさんの参道脇に建つ旧金毘羅大芝居(金丸座)は、天保六年(一八三五)に建立された日本最古の歌舞伎劇場で、国指定の重要文化財。江戸時代の芝居小屋の様式をよくとどめるこの劇場では、近年、金毘羅大芝居が大々的に復活し、当世の人気役者を集めた盛大な歌舞伎公演が話題となっています。北神苑にある「高燈籠」は日本最高の二七・六メートルの高さを誇る二層瓦葺の大燈籠。また、金倉川にかかる

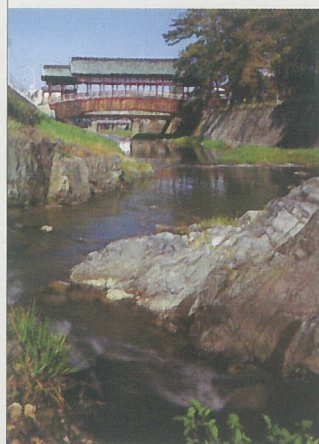
「鞆橋」は、金刀比羅宮の御大祭の時にだけ使用されている屋根付きで橋脚のない全国でも珍しい浮橋です。



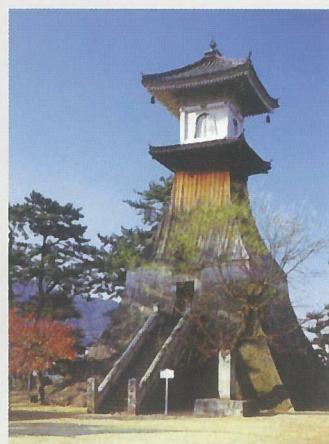
旧金毘羅大芝居(金丸座)
Konpira Oshibai Kabuki Theater (KANAMARU-ZA)

Kotohira-cho is a shrine town that developed at the gates of Kotohira-gu Shrine, and there remain many fine examples of historical architecture and many historic sites. For instance Kanamaru-za, built on the side of the Sando Approach, is the oldest extant Kabuki theater, having been established in 1835.

金刀比羅宮の 앞에 위치하는 『琴平町』에는 많은 歴史的인 建造物과 史跡이 남겨져 있다. 예를들면 金刀比羅宮의 参道옆에 서있는 金丸座는 1835년에 建立된 歌舞伎劇場이며 現存하는 歌舞伎劇場으로써는 日本最古의 것으로 알려져 있다.



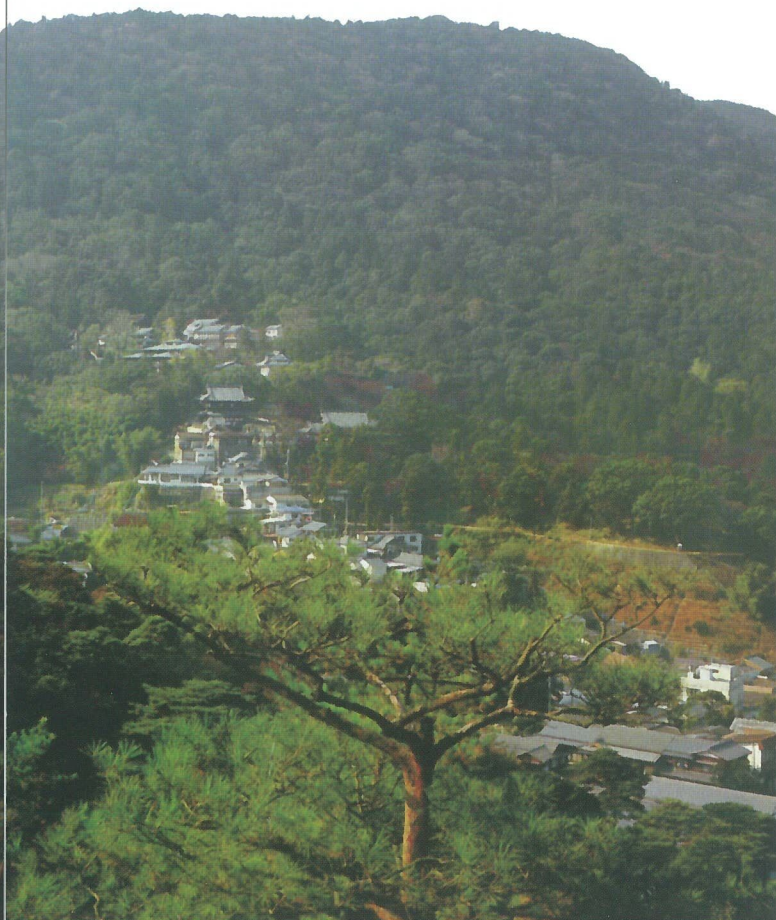
鞆橋 Sayabashi



高燈籠 Taka-Toro Lantern



緑滴る象頭山にいだかれた
こんぴらさんは海の守護神。



象頭のお山の中腹に鎮座する 金刀比羅宮の御本宮にご参拝。

こんぴらさんの大門から御本宮へといたる参道の途中には、それぞれに由緒のある建造物が林立していますが、そのなかでも金毘羅大権現時代の金堂であつた「旭社」は、ひととき華麗な社殿といえましょう。天保八年（一八三七）建立の旭社は、二層入母屋造、銅瓦葺の豪壮な建物で、上層屋根裏に彫られた卷雲をはじめ、柱や扉など、建物のいたるところに人物、鳥獸、花卉などの彫刻がほどこされており、完成までに約四十年の歳月を要したといわれています。また、楼上にかかげられた「降神觀」の三字の額は、清国第一等の書家王文治の筆になるもので、江戸の戯作者十返舎一九が「こんぴら道中膝栗毛」のなかにこの額を見たとして記してあることでも有名です。象頭山の中腹に鎮座する金刀比羅宮の御本宮は、大社閑棟造、檜皮葺の荘嚴な社殿で、本殿左右の壁板・拝殿の格天井に



御本宮拝殿の木組 Wood assemblage of the Main Shrine

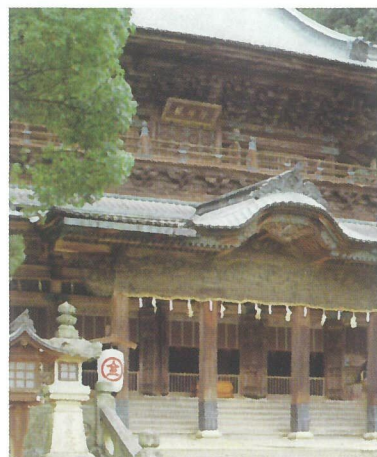
The Kotohira-gu Shrine is widely known as the home of the guardian god of the sea and as a god of fertility and medicine. The fine art and skillful design such as complicated wood assemblage of the yashiros (auxiliary shrines) and the main shrine draws people's attention.

象頭山の 산중턱에 자리잡고 있는『金刀比羅宮』은 바다의 수호신으로 또 五穀豊穰과 医藥의 神으로 널리 全国的으로, 그 이름이 높이 알려져 있다. 이 神社의 구역안에 점재하는 神殿과 堂의 建築物에는 그 細部に 복잡한 나무조합과 가냘프고 아름다운 조각 등 가지가지의 의장의 보는 사람을 감동시킨다.

は金・銀の桜樹図高蒔絵がそれぞれにほどこされ、向拝にはあざやかな金色の菊花御紋章が附されています。ご祭神は、大物主神と崇徳天皇をあわせておまつりしており、海の守護神として、また、農業殖産、医薬など、広範なご神徳をもつ神様として、広く、全国津々浦々の善男善女の信仰を集めています。



旭社の木彫 Wooden Sculpture of Asahi-no-yashiro Shrine



旭社 Asahi-no-yashiro Shrine



御本宮 Main Shrine

絵馬堂に納められた 色とりどりの絵馬や流し樽。

御本宮が鎮座する象頭山中腹の広前には、延長約四十メートルの南渡殿でむすばれた「睦魂神社」「三穂津姫社」などの御社や、入母屋造、檜皮葺の瀟洒な「神楽殿」などが建ち、七八五段の石段を上つてはる



絵馬堂 Ema-den Gallery

ばるとおとずれる参拝客をゆつたりと、物静かにむかえてくれます。

この広前の南端に建つ絵馬堂には、海難をのがれたお札の絵馬をはじめ、五穀豊穡、

家内安全、大漁祈願など、さ

まざまな願いや祈りがこめら

れた大小、色とりどりの絵馬

が、所せましとかかげられて

おり、さらに、お堂のなかには、

奉納金刀比羅宮の旗を立てた「流し樽」なども納めら

れていて、こんぴらさんなら

ではの見所となっています。

また、広前の北端に位置する

御本宮社殿前の展望台から

は、眼下に、讃岐平野ののんび

りとした美しい風景がひろが

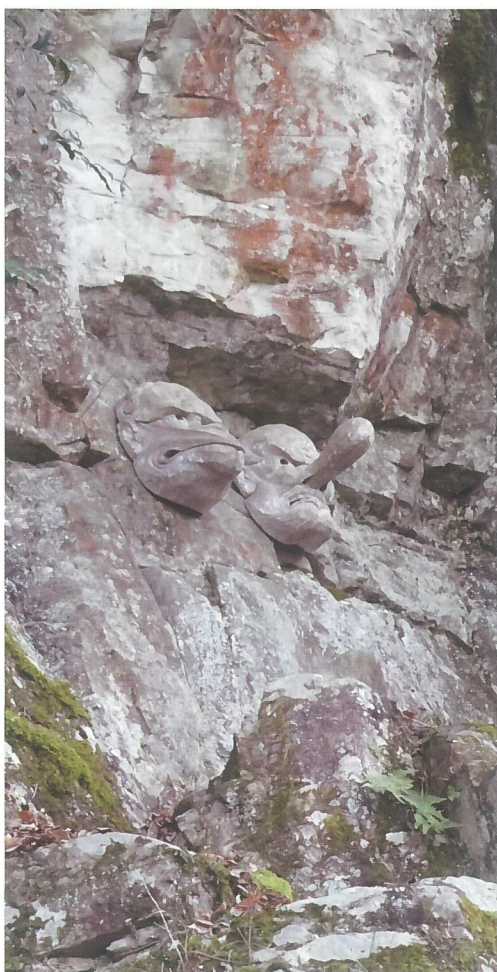
Colourful “Emas” (symbolic pictures of a horses representing a messenger to a god) and “Nagashi-darus” with a variety of shapes are beautifully displayed in two. “Ema-do” galleries built near the Main Shrine. A panoramic view of the Seto Ohashi Bridge from the observation post in front of the Main Shrine is wonderful on a clear day.

金刀比羅宮의 本宮옆에 서있는 2棟의 『絵馬堂』에는 大小 여러가지의 컬러풀한 “絵馬”와 “流し樽”가 변화하게 디스플레이되어 이 神社에만 엿볼 수 있는 것이다. 또 本宮앞에 있는 展望所로부터의 凡致는 比喩 없이 아름답고, 청명한 날에는 멀리 瀬戸大橋를 遠望할 수도 있다.

り、晴れた日には、はるかに瀬戸大橋から本州の山なみまでを一望するパノラマのような絶景を満喫することができます。この展望台からの素晴らしいながめも、また、こんぴらまいるの御利益のひとつといえましょう。



神楽殿 Kagura-den



奥社の岩壁の天狗面
Tengu-men on the rock wall of Oku-sha Shrine

けわしく切り立つた奥社の岩壁に
いにしへの修験の跡をとどめて
御本宮から、さらに象頭山の山頂近くへと
続く長い石段をのぼっていくと、一三六八段
の参道の突き当たりとなっている奥まつた
場所、こんぴらさんの「奥社」である「厳
魂神社」がひっそりと、寡黙なたたずまいで
鎮座しています。
うつそうと生い茂る木々におおわれた参道
の途中には、常磐神社、白峯神社、菅原神
社などの御社が点在し、また、ところどころ
に古池やけもの道などがみられて、山あい
の参道ならではの風情をただよわせてい
ます。
この奥社の西側には、まるで、削りとられ
たようにけわしい断崖があり、その岩壁の
上に、いかにも荒々しい表情の「天狗面」が、
しつかりとかかげられています。この天狗面
は、その昔の修験道の跡をとどめるもので、
かつて象頭山が修験者たちの勤行の地であ
ったことを、ひそやかに、今につたえています。

On the west side of Oku-sha Shrine located nearly on top of Mt.Zozu, there is precipitous cliff. Tengu-men (Tengu's face) with a violent look is located on the upper part of this rock wall. This is a historical site where religious ascetics once practiced their rituals.

象頭山 山頂 가까이 에 位置한 『奥社』의 西쪽엔 깎은듯 이 선 벼랑이 있고 그 벼랑위에 몹시 난폭한 표정의 『天狗面』이 계양되어 있다. 이는 먼 옛적에 “修験道”의 足跡을 남기며, 이 象頭山은 修験者(苦行者)들의 엄숙한 修行의 장터가 되었음을 後世에 伝하고 있다.



奥社 Oku-sha Shrine
“Izutama-Jinja”

こんぴらさんの御書院や宝物館は 第一級の美術品や文化財の宝庫。

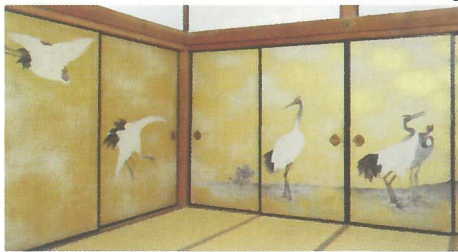
金刀比羅宮の参道脇に建つ宝物館や御書院には
芸術と文化の香り高い絵画や絵馬、彫刻、墨書など
第一級の美術品や文化財が燦然と輝きをはなっている。



遊虎図 Picture of playing tigers



上段の間と棚 Upper room and a shelf



遊鶴図
Picture of playing
cranes

建物自体が重文指定の二棟の書院には 応挙や岸岱の傑作が納められている。

こんぴらさんの境内に建つ表と奥の二棟の書院は、その建物
自体が国の重要文化財指定となっており、内部には、観覧者
の目をうばうばかりの貴重な美術品や重要文化財が不朽の
美と輝きをはなっています。特に、表書院に納められた円山応
挙の「遊虎図」「遊鶴図」などの障壁画は応挙円熟期の傑
作といわれており、奥書院に納められた伊藤若冲の「百花図」、
岸岱の「群蝶図」などの障壁画とともに、第一級の美術品とし
て高い評価を得ています。 ※奥書院は非公開です。

In the two drawing rooms of Kotohira-gu Shrine, a number of Important
Cultural Properties such as wall pictures created by Maruyama Okyo
(1733-1795), one of the greatest artists in the Edo Period, can be seen.
These are opened to the public and it is also one of the area's highlights.



表書院(重文) Omote-shoin Art Museum (Important Cultural Property)

金刀比羅宮の 2 棟の 書院에는 江戸時代の 絵画의 巨匠으로 高名
한 『円山応挙』가 그린 수십面の 障壁画를 비롯한 많은 重要文化財
가 수납되어 있다.

이 文化財는 널리 一般参拝客에 公開되어 있으며 金刀比羅宮의 또
하나의 명소가 되고 있다.

数千点にもおよぶ書画、彫刻、工芸など 至宝を集めた金刀比羅宮宝物館。

こんぴらさんの境内に
は、金刀比羅宮第一
号博物館の宝物館が
あり、館内には、金刀
比羅宮の元別当金光院
の観音堂の御本尊で
あった重要文化財「十



宝物館 Homotsu-kan Museum

一面観音立像」や、清水の次郎長で有名な森の石松が納
めたとされる「肥前国忠吉」をはじめとする数々の宝物が展
示されており、広く、参拝客に公開されています。



十一面観音立像
Jyuichimen Kan'on-ritsuzo
(Standing Kan'on-zo with eleven faces)

金刀比羅宮博物館－宝物館及学芸参
考館에 소장되어 있는 美術品과 工
芸品도 또한 너무나도 훌륭하다.
이러한 数千点이 넘는 소장품가운데 重要文化財指定의 『十一面観音
立像』等도 포함되어 있으며 열심인
美術工芸 프리크가 아니라도 놓칠
수 없는 스포트라 할 수 있다.

Arts and treasures exhibited in
Homotsu-kan Museum and Gaku-
gei Sanko-kan Museum of Koto-
hira-gu, are also wonderful.
Standing Kan'on-zo with eleven
faces, designated as Important
Cultural Property, is included in
these treasures and should not
be overlooked.



刀剣・忠吉銘(石松)

刀剣・忠吉(石松)
Swords. Bizenokunitadayoshi
(Morino Ishimatsu).

四季折々にくり広げられる こんぴらさんの華麗な祭典。

歳旦祭にはじまり、大晦日の除夜祭に終わるまで
金刀比羅宮の境内では、四季折々の祭典が
古式ゆかしく、厳粛に、また、華やかに開催される。



例大祭 Reitaisai

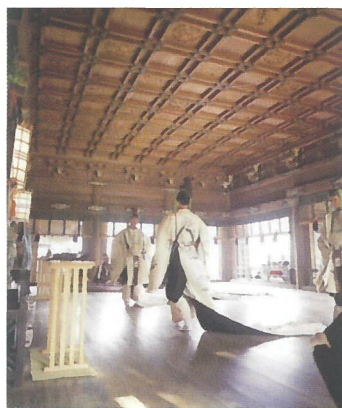
御神輿の行列が参道の石段をかけ下りて 門前のお旅所へといたる秋の御大祭。

こんぴらさんの境内では、お正月の歳旦祭にはじまり、大晦日
の除夜祭に終わるまで、一年を通じて、さまざまな祭儀や式典
が催されます。そして、これらの祭典のなかでもっとも厳粛な祭
典が、毎年十月に開催される「例大祭」です。この御大祭の
最大の見所は、十月十日の夜間にくり広げられる豪華な神輿
行列で、大勢の行列を引きつれた御神輿が、御本宮から御
旅所へと続く石段を一気にかけ下って、見物客を興奮のうず
に巻きこみます。

A variety of annual festivals renowned for their solemnity and gorgeous costumes are held all through the year. The "Reitaisai", held in October, is an especially grand affair. The magnificence of the procession carrying the shrine in the parade, coming down the stairs into the town, makes visitors excited.



桜花祭 Oukasai



新嘗祭 Niinamesai

金刀比羅宮에서는 年中 여러 가지의 祭典이 엄숙한 가운데 화려하게開催되고 있다. 특히 毎年 10월에開催되는『例大祭』는 一層 豪華로운 祭典으로 되어 있어 石段을 뛰어내리는, 신체를 모신 가마行列의 흥룡하고도 아름다운 모습은 모인 觀衆을 興奮의 파장으로 이끌고 있다.



紅葉祭 Momiji-matsuri

「アリヤー」「アリ」の優雅なかけ声とともに 華麗な平安絵巻を再現する蹴鞠の行事。

毎年五月五日、七月七日、十二月下旬の三回にわたって催される「蹴鞠」は、現在では、京都と琴平にだけに残された貴重な古典芸能です。古式ゆかしい衣装をまとい、「アリヤー」「アリ」のかけ声とともに、優雅に毬をけり上げる様子は、まさに平安絵巻の再現といえるでしょう。

Kemari is one of the popular ancient sports performed in the Heian-era (794-1185). This is a precious Intangible Cultural Property preserved today only in Kyoto and Kotohira-gu. People can see it on May 5, July 7, and in late December every year at the Kotohira-gu Shrine.

『蹴鞠』는 王朝時代に 많이 流行하고 있던 고상하고도 아담한 노름의 하나로서 現在 京都와 金刀比羅宮에서만 남아있는 貴重な 文化遺産이라 할 수 있다.

金刀比羅宮에선 毎年 5月5日, 7月7日, 12月下旬에 거행되고 있다.



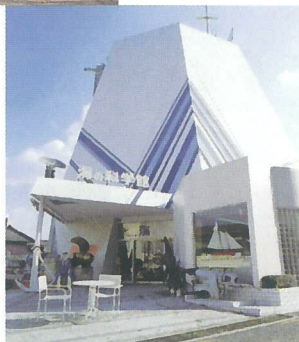
蹴鞠 Kemari (Ball Kicking)

K O T O H I R A



JR琴平駅 JR Kotohira Station

緑の木々にいだかれた
琴平公園の一角には
瀬戸大橋の提唱者である
大久保謙之丞翁の像が
悠然とたつている



海の科学館 Ocean Science Museum

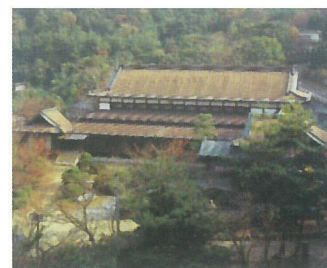
多島美の瀬戸内海を横ぎつて
本州と四国を陸続きにした
世界屈指の瀬戸大橋をわたつて
さぬぎのこんぴらさんへ。
こんぴらまいりのその後は
門前町を観光の拠点に
さぬぎ路の名所旧跡を
のんびりと、ひとめぐり。



こんぴらまいりの旧五街道沿いには
無数の道標や石燈籠が残る

門前町のあちこちに点在する
さまざまな見所をたずねて。

琴平町には、大正時代の北欧風建築「JR
琴平駅」、昭和初期の名建築「琴平町公会
堂」、四季の風物に恵まれた「琴平公園」な
ど、多数の見所が点在しています。また、最
新のシミュレーション機器などを元備した「海
の科学館」や、歌舞伎の資料などを集めた
「琴平町立歴史民俗資料館」などの文化
スポットも、こんぴらさんの門前町ならではの
見所となっています。

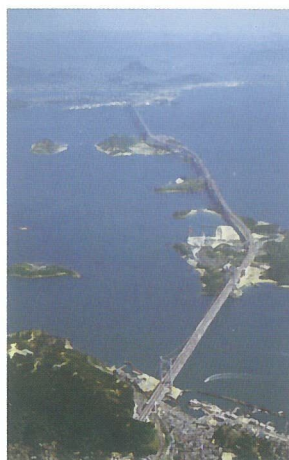


琴平町公会堂 Kotohira-cho Public Hall



琴平町立歴史民俗資料館
kotohira-cho Rekishi Minzoku Shiryo-ka
(historical folk materials exhibition
and library)

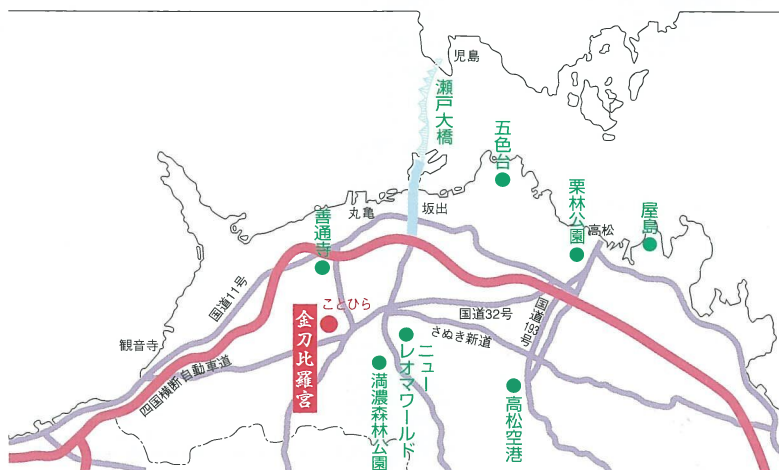
There are many sightseeing places such as the Seto Ohashi Bridge around Kotohira-cho. This town is also favoured with good accommodations and transportation systems, which make it the heart of the sightseeing region.



The Seto Ohashi Bridge

こんぴらさんの門前町を観光拠点に
さぬぎ路の名所旧跡をひとめぐり。
温暖な気候と四季の豊かな風物に恵まれ
た「さぬぎ路」には、源平合戦の古戦場「屋
島」、天下の名園「栗林公園」、日本最大の
ため池「満濃池」、弘法大師空海ゆかりの
「善通寺」など、数多くの名所旧跡が点在
しています。琴平を観光拠点に、これらの見
所をのんびりとひとめぐりする旅も、また、
思い出深いものです。

金刀比羅宮の 문전도시인 琴平
町の 周辺엔 『瀬戸大橋』를 위주
로 한 수많은 名所, 旧跡이 点在
하고 있다. 숙박시설과 교통이
편리한 琴平町은 이러한 명소
구적을 찾는 출발점으로 대단히
포괄적인 장소라 할 수 있다.

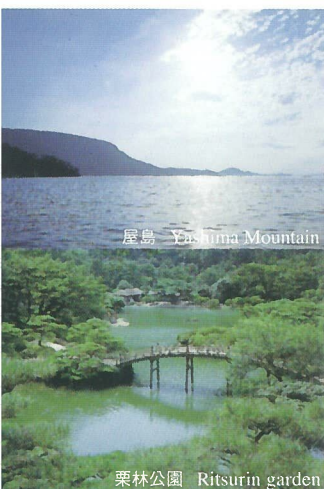


琴平町観光商工課

〒766-8502 香川県仲多度郡琴平町榎井817-10 ☎(0877)75-6710



琴平公園 Kotohira Koen Park



屋島 Yashima Mountain

栗林公園 Ritsurin garden



満濃池 Mannoike reservoir



善通寺 Zentsuji